

地域密着型金融の取組み状況（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

1. 地域密着型金融の取組み状況

主要取引先である中小・零細業者および住宅ローン利用者につきましては、金融円滑化法の施行を受け、今まで以上に取引先の経営実態をきめ細かく把握し、適切な対応を行うとともに必要に応じて経営改善計画の策定支援や指導を実施するなどコンサルティング機能の強化に努めております。当組合は、お客さま一人ひとりの顔が見える対話を一番大切に、最も身近な頼れる相談相手として、お客さまの悩みを一緒に考え、問題の解決に努めていくため、金融円滑化方針を定め、これを遵守し、全役職員が一体となって取組んでまいります。

2. 重点事項の具体的な取組み内容

(1) 中小・零細事業者に対する適切な資金供給

創業・新事業の支援を目的としたローンの平成 23 年 3 月末の利用実績は、12 件、49 百万円となっており、平成 23 年度も継続して推進してまいります。

（利用実績） 広島県創業支援資金 11 件 45 百万円、広島市創業支援資金融資 1 件 4 百万円

(2) 取引先企業に対する経営相談・コンサルティング機能の強化・事業再生支援の積極的取組み

「経営改善支援委員会」が営業店と連携して次のような施策実施により、経営改善支援を行い、経営改善支援先 76 先のうち 3 先が正常先になりました。

- ・ 外部専門家参加の研修会開催による職員の能力アップ
- ・ 担当税理士と一体となった改善計画の検討、予実会議開催
- ・ 信用格付とセットした企業診断サービスの開始
- ・ 中小企業会計啓発普及セミナーの開催（11 月・12 月）
- ・ 他行を含む債務一本化による返済負担と金利の軽減

期初 債務者数	うち				経営改善支援 取組み率	ランクアップ 率	再生計画策定 率
	経営改善支援 取組み先数	α のうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数	α のうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数	α のうち再生 計画を策定し た先数			
A	α	β	γ	δ	α / A	β / α	δ / α
896	76	3	67	73	8.5%	3.9%	96.1%

(注) 1. 本表の「債務者数」、「先数」は、正常先を除く計数です。

2. 期初債務者数は、平成 23 年 4 月当初の債務者数です。

3. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業（個人授業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。

4. 「 α （アルファ）のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β （ベータ）」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は、 α に含みますが β には含んでおりません。

5. 「 α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ （ガンマ）」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。

6. 「 α のうち再生計画を策定した先数 δ （デルタ）」は、 α のうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当組合独自の再生計画策定先の合計先数です。

7. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。

(3) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資商品の推進

取引先の経営実態をよりの確に把握するため、従来の財務分析に取引先の製品力や技術力、セールス力、経営者のビジョンなどの定性情報を取り入れ、過度に不動産担保・個人保証に依存しない融資商品を推進しました。

- | | | |
|----------------------------|------|---------|
| ① 「メンバーズサポートローン」（商工会議所と提携） | 3 件 | 25 百万円 |
| ② 「商売安定」（中小企業者向け） | 40 件 | 259 百万円 |
| ③ 「水軍ローン」（尾三地区の造船関連業者向け） | 4 件 | 51 百万円 |

- | | | |
|-----------------------------|----|-------|
| ④「青果組合員特別資金」(青果組合員向け) | 4件 | 21百万円 |
| ⑤「広島県医師会・歯科医師会制度融資」(医師会と提携) | 2件 | 7百万円 |

(4) 目利き能力のある人材育成

取引先の技術力・成長性や経営実態をよりの確に評価するため、財務分析や定性分析等の目利き能力向上に向けた各種研修に参加し、人材育成に積極的に取り組みました。

- ①「目利き(財務・企業分析基礎)研修」(4月)
- ②「融資査定診断士育成研修」(5月)
- ③「企業再生支援研修」(5月)
- ④「リスク管理援研修」(6月)
- ⑤「企業支援ランクアップ研修」(7月)
- ⑥「渉外管理者レベルアップ研修」(9月)

(5) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

① 地域活性化へ向けたサービスの提供

廿日市支店新規開設(4月)、松永支店改装(9月)、福山支店移転(11月)を行ない店舗整備やインターネットバンキングの取扱開始(4月)、消費者ローンのインターネット申込取扱開始(11月)による利便性を向上させました。地域貢献となる商品開発として「サンフレッチェ広島 応援定期」、を発売しました。

② 地域活性化への取り組み

地域活性化に向けて各事業に取り組み、地域の皆さまと“つながり”を深めました。文化事業 財)けんしん育英文化振興財団による「第26回県民文化奨励賞」の贈呈式開催(12月)。健康・福祉事業 ケンシン献血会の活動、ひまわり会による福祉への寄付活動。地域スポーツ振興事業 サンフレッチェ広島スポンサーゲームの開催(7月)、サンフレッチェ広島へチーム強化資金の贈呈(2月)。地域の皆さまとの交流 地域行事への参加、年金旅行の開催